

夕刊読書



私の一冊

武士道

高石 清賢さん (土佐町土居)

「土佐町少年剣道」代表



「道徳成大会」
生団体の部 出場

土佐郡土佐町で小学生と保育園児に剣道の指導をしています。スポーツではフェアプレーがすべての基本になりますが、この本には精神面で子どもたちに教えたことが、たくさん書かれています。約百年前、新渡戸稲造さんが日本の文化や国民性を外国に紹介しようと英語で書いたも

ので、何冊もの翻訳本があります。私が最初に読んだのは矢内原忠雄さんの訳で、これも味わいがある良いのですが、とっつきやすいのは、この奈良本辰也さんの訳です。「日本は外国に対してもっと強く主張すべき」とよく言われますが、この本を読むと、それだけでもないと思います。



控えめなのは日本人の国民性で、古くからの伝統である思いやり

日本人の誇り持って

の心や道徳心から来ているのでしよう。もちろん、武士の時代と今とは考え方のギャップはありますが、この本の内容は今でも十分通用するし、新鮮です。十年ぐらい前に初めて読みましたが、もう何十回も読みました。そのたびに新しい発見があります。

最近特に若い人の間で、自分の生き方に自信を持ってない人が増えてきているようですが、そういう人たちにはぜひ読んでほしいと思います。「日本人に生まれてよかった」と思える本です。

新渡戸稲造著 奈良
本辰也訳 三笠書房
1130円